



女・男 ひろば

< 第47回 >

女性のチャレンジを支援する ポジティブ・アクション

積極的改善措置（ポジティブ・アクション）とは、個々の活動の場で男女のどちらかが少数の場合に、状況を考慮して実質的な機会均等を確保するため、差別が解消するまで行われる暫定的で特別な措置のことです。

社会的・経済的格差が現実存在するところでは、単に平等な法律や制度の整備だけでは「機会の平等」は形式的なものに過ぎず、現実的にはこの機会の利用は困難なことも多くあります。そこで、男女共同参画社会形成のための重要な手法として、この積極的改善措置が行われるようになりました。

現状では女性の活動の場が少ないことから、女性を対象とする場合が多いのですが、男女どちらについても適用される措置です。具体的な例としては、公的な方針決定機関などで、男女それぞれが一定割合になるよう規定するクォーター制（割当制）や、女性参画の目標値とその達成期限を設定して促進するゴール・アンド・タイムテーブル（目標達成制）、女性に対する優先的な情報提供などがあります。

新津市の人口

	平成16年12月31日現在 前月比)	前年同月比
男	32,719 (+ 15)	(+ 107)
女	35,434 (+ 39)	(+ 231)
計	68,153 (+ 54)	(+ 338)
世帯数	22,177 (+ 18)	(+ 446)
12月中の動き		
出生	40	死亡 57
転入	177	転出 106
結婚	23	離婚 10

好きです！きれいなまち・新津

ポイ捨てしま宣言！！

ポイ捨てしませんヨ！！



持ち帰り

新津市内では、空き缶やタバコの吸い殻、ガムなどのポイ捨てが、条例により禁じられています。
※市民と市内通行者に適用

違反者には

指導・勧告・命令

…最終的には5万円以下の罰金

市民生活課
環境衛生係
☎24 - 2111
内線232

いつまでも大切にしたい「ふるさとの宝」

新津の文化財

(その7)



市指定文化財
小泉蒼軒文庫(測量器具一式を含む) 一括

所在地/新津市図書館
所有者/本間幸雄
管理者/新津市

この史料は、越後地理学の先駆者小泉蒼軒(一七九七〜一八七三年)が心血を注いだ越佐誌編さんの記述が中心となっています。
測量器具一式のほか、地図や随筆、写本など三百六十三冊からなり、内容は地理や歴史、政治、測量術、日記など社会全般に及んでいます。中でも日記は、蒼軒がおよそ四十年にわたり、幕末の変動期を通して郷土と密接に生きたことを示す貴重な記録です。



市指定文化財
八幡山遺跡群 一群(六遺跡)

所在地/新津市大字古津字八幡腰ほか
所有者(管理者)/新津市

日本海側最北の高地性環濠(かどじょう)集落である八幡山遺跡(弥生時代後期)と県内最大規模の古津八幡山古墳(古墳時代前期)の複合遺跡です。
八幡山遺跡は、標高50mの丘陵上に造られた防衛的集落で、周りには何重かに環濠を巡らせています。古津八幡山古墳は、丘陵北端の平野を見下ろす位置に造営された大円墳です。
東日本における弥生時代から古墳時代という激動期の様子を示す、典型的な遺跡の一つと考えられ、市では国指定遺跡を目指して準備を進めています。